

2005 年 4 月より、社会学部が新設され、社会学専攻は社会学部社会学科に、文学研究科社会学専攻は社会学研究科社会学専攻となります。すでに研究室は昨年秋に今出川キャンパス弘風館から新町キャンパス南の溪水館に移転していますが、2005 年 10 月には新しい臨光館が完成し、社会学部の授業はおおむね新町キャンパスで行われることになります。今年度の一般入試は新設歓迎のしるしか例年の倍近くの応募があり、同志社社会学はますます難関の志望先となっていますが、この先の発展のためにはますます気を引き締めなければならないと思っています。

昨年は小林久高教授、板垣竜太専任講師のお二人を新しいスタッフとしてお迎えしましたが、さらに今年 4 月からは甲南大学から鶴飼孝造教授、Oxford Brookes (イギリス) 大学から Bruce White 専任講師のお二人を新しくお迎えいたします。三沢謙一先生が今年度で退職され、2005 年度 of 社会学科のスタッフは、鯉坂学、森川眞規雄、立木茂雄、尾嶋史章、藤本昌代と合わせて 9 名になりました。

大学院では、2005 年度、前期課程に 6 名、後期課程に 1 名が入学します。全体では前期課程 11 名、後期課程 8 名の計 19 名が在籍することになります。2004 年 9 月には平井順氏、河口充勇氏、小林大祐氏、逢軍 (パン・ジュイン) 氏が、2005 年 3 月には栗本修滋氏、宍戸邦章氏が博士 (社会学) の学位を取得されました。また、前期課程では 3 名が修士論文を提出し、修士の学位を授与されました。

(森川)

2004 年度 院生業績一覧

博士後期課程

栗本 修滋

【査読付論文】

「地域社会における里山風景の共有と林業・森林技術——広島県三良坂町灰塚ダム生活再建地の事例から」2004 年 9 月『村落社会研究』第 21 号 37～48 ページ（日本村落研究学会）

【紀要論文】

「森林ボランティア活動が紡ぎ出す公共性」2005 年 3 月『同志社社会学研究』第 9 号（同志社社会科学研究学会）

新名主雪絵

【査読付論文】

「インターンシップ生は何を得られたか？——実習プログラムとコミュニケーションから見えてくるもの」2005 年 3 月『労働社会学研究』第 6 号 41～72 ページ（日本労働社会学会）

【紀要論文】

「中小企業におけるインターンシップの活用——インターンシップは採用手段と成り得るのか？」2004 年 12 月『関西実践経営』第 28 号 37～48 ページ（実践経営学会関西支部）

【学会報告】

「インターンシップ生は何を得られたか？——受入側とのコミュニケーションから見えてくるもの」2004 年 5 月 22 日 第 55 回関西社会学会（佛教大学）

「インターンシップの指導内容と指導経験が意味するもの」2004 年 11 月 21 日 第 77 回日本社会学会（熊本大学）

吉岡 威史

【紀要論文】

「日本型ポスト青年期の流行歌——『現実』隠蔽システムとしての励まし歌」2005 年 3 月『同志社社会学研究』第 9 号（同志社社会科学研究学会）

吉田 崇

【査読付論文】

「M 字曲線が底上げした本当の意味——女性の『社会進出』再考」2004 年 7 月『家族社会学研究』第 16 号 1 巻 61～70 ページ（日本家族社会学会）

【報告書】

「職歴移動プロフィールの記述——LHC 調査をもちいた定型分析」2005 年 3 月『ライフヒストリーの計量社会学的研究』（平成 14～16 年度科学研究費補助金研究成果報告書・研究代表：近藤博之）51～61 ページ

「戦後日本の所得分配の趨勢と格差要因の検討」2005 年 3 月『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』（平成 15～16 年度科学研究費補助金研究成果報告書・研究代表：尾嶋史章）41～52 ページ

【学会報告】

「女性の世代内移動と社会階層——所得階層からのアプローチ」2004 年 5 月 23 日 第 55 回関西社会学会（佛教大学）

「所得階層からみた結婚と社会移動」2004 年 11 月 21 日 第 77 回日本社会学会大会（熊本大学）

宍戸 邦章

【紀要論文】

「都市郊外における高齢者の社会的ネットワーク——ネットワーク構造と生活機能外部化の関連について」2005 年 3 月『同志社社会学研究』第 9 号（同志社社会学研究学会）

黒宮亜希子

【査読付論文】

「震災復興 10 年目をみすえた『神戸の今』に関する質的・量的研究——ワークショップと社会調査をもちいて」（共 立木茂雄）2004 年 11 月『地域安全学会論文集』第 6 号 261～267 ページ

【論文】

「TQM-based assessment of life recovery processes and validation through a questionnaire survey of Kobe citizens nine years after the Kobe earthquake」2005, Proceedings of the 1st International Conference on Urban Disaster Reduction（印刷中）

【学会報告】

「震災復興 10 年目をみすえた「神戸の今」に関する質的・量的研究——ワークショップと社会調査をもちいて」（共 立木茂雄）2004 年 5 月 22 日 第 55 回関西社会学会（佛教大学）

「震災復興 10 年目をみすえた「神戸の今」に関する質的・量的研究——ワークショップと社会調査をもちいて」（共 立木茂雄）2004 年 11 月 6 日 第 15 回地域安全学会（静岡県地震防災センター）（査読論文報告）

「市民参画型ワークショップを用いての震災復興 10 年目の検証——2003 年神戸市復興検証 WS・2004 年兵庫県復興検証 WS をもとに」（共 立木茂雄）2004 年 11 月 6 日 第 77 回日本社会学会（熊本大学）

「TQM-based assessment of life recovery processes and validation through a questionnaire survey of Kobe citizens nine years after the Kobe earthquake」2005 年 1 月 18–19 日 The 1st International Conference on Ur-

雨森 聡

【報告書】

「地域移動の契機とライフイベントの関連——地域移動と社会移動の接点」2005年3月『ライフヒストリーの計量社会学的研究』（平成14年度～平成16年度科学研究費補助〔基盤研究（B）（1）〕研究成果報告書 研究代表者：近藤博之）75～83ページ

「政党好感度の有効性について——支持なし層の分類と分析を中心に」2005年3月『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』（平成15年度～平成16年度科学研究費補助〔基盤研究（B）（1）〕研究成果報告書 研究代表者：尾嶋史章）65～72ページ

【学会報告】

「島根県の高校生の地域移動——地方にある高等教育機関の重要性」2004年11月20日 第77回日本社会学会大会（熊本大学）

田中 志敬

【報告書】

「地域コミュニティ」2005年（財）京都市景観・まちづくりセンター『京都市心部におけるマンションと地域コミュニティ』（まちづくり専門家セミナーテーマ別研究会報告書）（印刷中）

「マンション住民と既存社会の関係構築に関する実態調査」2005年（財）京都市景観・まちづくりセンター『京都市心部におけるマンションと地域コミュニティ』（まちづくり専門家セミナーテーマ別研究会報告書）（印刷中）

博士前期課程

山本 圭三

【紀要論文】

「現代大学生の職業選好に関する計量的分析——島根大学調査データをもちいて」2005年3月『同志社社会学研究』第9号（同志社社会学研究学会）

2004 年度 博士論文題目

氏 名	論 文 題 名
河 口 充 勇	新港城 ——現代香港の若年ミドルクラスの居住と移動に関する社会学研究——
小 林 大 祐	社会意識の変動過程としての記号化 ——階層帰属意識の規定要因の実証分析から——
逢 軍	福威公司 ——中国沿岸部都市近郊の郷鎮企業に関する社会人類学的研究——
平 井 順	責任概念の軌轍 ——いかにして未然の保身行動が促進されるようになったか——
栗 本 修 滋	森林ボランティア活動の研究
穴 戸 邦 章	高齢期における再編的エイジングの研究 ——大都市郊外における社会的ネットワークの変容と老い方の諸形態——

2004 年度 修士論文題目

池 邨 徹	京都における伝統工芸職人の形成過程に関する研究 ——京焼・京仏具・尺八職人を事例として——
川 瀬 飛 翠	結婚難における「男女同質化」と「内面志向」 ——「女性雑誌」の分析を通して——
宮 本 結 佳	滋賀県志賀町における住民運動の展開動向についての比較分析 ——ゴルフ場農業散布問題および廃棄物焼却処理施設建設問題を事例として——

執筆者紹介

三沢 謙一（みさわ けんいち）

同志社大学文学部教授

社会人間学

bz172@orion.ocn.ne.jp

杉本久未子（すぎもと くみこ）

大阪人間科学大学人間科学部助教授

環境社会学、社会運動論、まちづくり

kumisugimoto@ohs.ac.jp

栗本 修滋（くりもと しゅうじ）

栗本技術士事務所

環境社会学

MXG02362@nifty.ne.jp

宍戸 邦章（ししど くにあき）

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

家族社会学、老年学

kuniaki@oak.ocn.ne.jp

山本 圭三（やまもと けいぞう）

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士前期課程

社会階層論

dle1204@mail2.doshisha.ac.jp

吉岡 威史（よしおか たけし）

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

青年社会学、文化社会学

bswan@dion.ne.jp

（執筆順、所属は2005年3月31日現在）